

《めざす児童像『主体的に学ぶ子 共生の心を持つ子 健康な子 郷土に親しむ子』》



# しらやま

白山小学校だより No.9

平成30年7月3日

## 第1回 しらやま家庭・地域・学校協議会

6月29日（金）に、第1回目のしらやま家庭・地域・学校協議会が開かれました。この会は、小学校と中学校の円滑な接続や地域全体の教育力をより一層向上するという観点から、小・中合同開催をしており、白山区長会長様をはじめ19人の委員で構成されております。会議の目的は、保護者・地域住民・学校の代表が子どもたちの成長や教育に関わる課題について協議し、それぞれが責任を持って取り組むことで地域全体の教育力をより向上させ、地域に開かれた学校づくりをめざしていくものです。

今回は年度当初ですので、はじめに小学校と中学校から今年度のスクールプランやこれまでの教育活動の取組について説明をいたしました。その中で、地域に誇りや愛着を持つようにすることや、いろいろな活動を通して子どもたちが成長していること、登下校の安全を確保することなどが話題になりました。子どもの人数が少なくなってきたことから、白山に住みたくなる町づくりという視点からの意見では、委員のみなさんからの熱い思いを感じることができました。そこで、少人数の取組のよさを生かす教育を大事にしながら、未来を担うたくましい子どもたちを育てていかなければならないと強く思いました。

この会でいただいた貴重なご意見は、これからの教育活動に生かしていきます。



## ☆☆☆ふれあい交流会☆☆☆



6月29日（金）、地域の方21名をお招きし、ふれあい交流会を行いました。3・4年合同で、総合的な学習の一環として例年この時期に行っています。さらに今年は合同で大豆を栽培し、収穫した大豆で味噌を作ります。3年生は、この大豆に関しての問題を楽しいクイズ形式にして、答えてもらいました。4年生は、おじいちゃん・おばあちゃんを楽しませようということで、歌合戦、

ミニ運動会（ボウリング・玉入れ）、勝ち抜きじゃんけんを企画しました。3・4年生が堂々とした態度で発表している姿はとても頼もしく、特に4年生は、総合司会や各出し物の責任者としても大いに活躍してくれました。地域の方々が、「楽しかった。」と言ってくださったことが何よりの贈り物でした。



